



テーマ
幸せを創る明日の風景
Scenery of the Future for Happiness

2027年国際園芸博覧会への出展
(開催期間: 2027年3月19日~9月26日)

2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) の概要

- 国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らしの創造等を目的に各国で開催。
- 2027年国際園芸博覧会は、最上位の国際園芸博覧会 (A1) として開催するものであり、AIPH (国際園芸家協会) の承認と、BIE (博覧会国際事務局) の認定が必要 (我が国では1990年の「大阪花の万博」に次いで2回目の開催)。
- AIPHの承認は2019年度に、BIEの認定は2022年11月に取得。

開催概要

位 置 付 け：最上位の国際園芸博覧会 (A1)
国際博覧会条約に基づく認定博覧会

開 催 場 所：旧上瀬谷通信施設の一部 (約100ha)
(横浜市旭区・瀬谷区)

開 催 期 間：2027年3月19日～9月26日(6か月間)

参 加 者 数：1,500万人 (ICT活用等の多様な参加形態含む)
(有料来場者数：1,000万人以上)
※大阪花の万博では約2,300万人が来場

会 場 建 設 費：最大417億円

会 場 運 営 費：360億円

テ ー マ：幸せを創る明日の風景
～Scenery of the Future for Happiness～

開 催 者：(公社) 2027年国際園芸博覧会協会



国際園芸博覧会の位置付け

国際博覧会
BIE「博覧会国際事務局」
登録・認定
BIE: Bureau International des Expositions

【BIE】

- 「国際博覧会に関する条約」に基づき加盟国との拠出金によって運営されている組織
- 184カ国で構成
- 本部はフランス・パリ

登録博
(旧一般博)

1970
日本万国博覧会
「大阪万博」

2005
日本国際博覧会
「愛知万博」

2025
日本国際博覧会
「大阪・関西万博」

認定博
(旧特別博)

1975
沖縄国際海洋博覧会
「沖縄海洋博」

1985
国際科学技術博覧会
「つくば科学万博」

1990
国際花と緑の博覧会
「大阪花の万博」

2027年国際園芸博覧会

国際園芸博覧会
AIPH「国際園芸家協会」
承認

※AIPH: Association Internationale des Producteurs de l'Horticulture

【AIPH】

- 国際的レベルで園芸生産者の利益を図り、園芸技術の向上を図るために設立された非営利団体
- 世界各国84の園芸・造園団体等により構成 (日本では(一社)日本造園建設業協会が会員)
- 事務局は英・オックスフォードシャー

種別	A1	B, C, D
開催期間	3～6ヶ月間	
最低面積	50 ha	
BIE認定	必要	不要

小規模化
不要

2

出典元：国土交通省HPより
(R7.11月末時点)

2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) の概要



NbSの基盤となる植物への理解・尊敬のもと、NbSを意識、行動する市民や企業をひろげる



都道府県、指定都市、市町村の屋内出展エリア



GREEN×EXPO 2027の会場では、メインゲートを入ると、まずUrban GX Villageで未来のGXを体感することができます。国際出展ゾーンでは世界各国の園芸文化に触れ、Farm & Food Villageではこれからの食と農を、花と緑の中で体験できます。さらに、テーマ館で植物の新たな世界に出会い、園芸文化館で日本の園芸文化の奥深さを知ることができます。その奥には、日本各地の庭園や豊かな緑のなかに広がる花いっぱいの風景を実感できます。



《山口県》
屋外展
規模: 50m²

3

出典元: 花・緑出展【屋外展】公募要領より

山口県 屋外出展の目的

《目的》

- ▽ 山口きらら博記念公園の四季折々の花を楽しめる
中国地方最大級の規模を誇る フラワーガーデンを
全国に向けて発信し、認知度の向上を図ることで
来場者の拡大につなげる。
- ▽ 本県オリジナル花きを展示し、PRすることにより、
県産花きの振興を図る。

以上のことを利用的に、屋外出展により参加すること
とし、先般、博覧会協会と基本協定書を締結した。④

山口県 屋外展出作品のイメージ図

秋吉台をはじめとした山口県の昔ながらの“豊かな自然”を表現するとともに、中国地方最大級の山口きらら博記念公園のフラワーガーデンや、山口県が独自に品種開発したオリジナル花きなど、現在の“花と人の親しみ”的風景を一つの庭園に凝縮して表現

※ 建物の形状、配置を含め、造園や花きの専門家等で構成された「アドバイザリー会議」からの意見を基に作成した現時点のイメージ。

